

# ハッチョウトンボ

トンボ科



日本で一番小さいトンボ

17～21mm



オニヤンマとハッチョウトンボの写真を相対比較できるサイズで表示しています。

## 生息環境：

陽当たりがよくて、浸み水があり、モウセンゴケが生育するような湿地

行動範囲： 湿地内の限られた領域



成虫になるサイクル： 1年  
幼虫の脱皮回数： 9回  
終齢のサイズ： 8mm 前後

幼虫の育成場所：  
湿地の表面に浸み水がありジメジメした泥の中

## 国内分布：

本州・四国・九州に分布するが局地的

## 絶滅危惧指定：

環境省： 該当なし

## 都道府県：

絶滅： 埼玉県、東京都 (2)

絶滅危惧Ⅰ類：

青森県、群馬県、山梨県、静岡県

香川県、愛媛県、福岡県、長崎県

熊本県、大分県、宮崎県 (11)

絶滅危惧Ⅱ類：

宮城県、鳥取県、島根県、広島県

高知県、佐賀県 (6)

準絶滅危惧：

秋田県、山形県、茨城県、富山県

京都府、大阪府、和歌山県

徳島県 (8)

## 国外分布：

朝鮮半島・中国から東南アジア・オーストラリアにいたる熱帯・亜熱帯地域

# オニヤンマ

オニヤンマ科



日本で一番大きいトンボ

## 生息環境

平地から山地にいたる川・湿地・池などの広範囲な流水域

行動範囲： 数10Kmにおよぶ領域



成虫になるサイクル： 5年  
幼虫の脱皮回数： 14回  
終齢のサイズ： 50mm 前後

幼虫の育成場所：  
小規模で緩やかに水が流れる又は入れ替わる小水域の砂底

## 国内分布：

日本全国に分布

## 絶滅危惧指定：

環境省： 該当なし

## 都道府県：

絶滅： 該当なし

絶滅危惧Ⅰ類： 該当なし

絶滅危惧Ⅱ類： 該当なし

準絶滅危惧：

東京都 (1)

## 国外分布：

台湾・朝鮮半島から中国・サハリンおよびシベリアの一部